

校長室より

令和 5年 3月20日
校長 植野 博之



春の蕾が膨らみ始める季節となりました。みはま支援学校では卒業式が行われました。

3月1日（水）二学部（高等部通学生）の卒業式、3月14日（火）一学部（小、中、高等部和歌山病院入院児童生徒）卒業式及び二学部（中学部通学生）卒業式が実施されました。

二学部（通学生）高等部卒業式

3月1日（水）二学部（高等部通学生）13人の卒業式が、行われました。

コロナ禍で迎えた入学式から3年。高1の4月、5月は学校に登校できず、オンラインでのスタートでした。多くの行事や授業等制限が最も多い学年でしたが、生徒達は大変前向きに何か楽しいことはできないか考えてきました。

大変みんな仲の良い、まとまりのある友だち想いの優しい生徒達でした。

後輩からも「先輩達、卒業してほしくないよ～」

と慕われ、とても面倒見のよい先輩達でした。

それぞれが、就職や作業所、福祉サービス、大学や専門学校など、それぞれの道へ向け、巣立って行きました。期待と不安も入り交じりながらと思いますが、学校生活で学んだ折り合いと修正力を糧に新しい世界での活躍を期待しています。



一学部（和歌山病院入院生小中高等部） 二学部（通学生）中学部卒業式

3月14日（火）一学部と二学部中学部の卒業式が行われました。

今年度も一学部（和歌山病院入院生）卒業式は病棟毎に行われ、二学部（通学生）は、その様子を本校体育館からオンラインで参加しました。

この形式ははじめてでしたが、本校体育館からも素敵な歌声で贈る歌を合唱しました。

一学部の小中高等部卒業式には、コロナ禍以降、面会ができなかった保護者も本当に久しぶりに参加することができ、オンラインも含めた心温まる卒業式となりました。

この3年間、先生達との関係性を軸に、五感を高めながら、自分の思いを様々な表情や体の動きで伝えてくれました。

何より健康に元気に卒業できたことを嬉しく思います。ご卒業おめでとうございます。

